

受注後生産

スクリーンインキ

反応型インキ

一般印刷 | 一液熱硬化型

遅乾性MIG-N（MOF）インキ 2500シリーズ

金属・ガラス用の一液熱硬化型インキです。

接着力が極めて強く、皮膜物性や耐候性が優秀です。

遅乾性MIG-Nインキ2500シリーズでは、フランス鉱物油規制に該当するMAOH、MOSHやPFAS規制に該当する成分を含有していましたが、遅乾性MIG-N（MOF）インキ2500シリーズではこれらの規制物質を含有していません。

製品の特長

- 光沢型で、接着力が非常に優れています。
- 皮膜は強靱で、最高の物性・耐候性が得られます。
- 比較的低温（150℃）で硬化します。
- 印刷中の目詰まりが起きにくい遅乾性タイプです。

特性

印刷作業性

強靱な皮膜

接着性

遅乾性

ポットライフなし

耐性

耐薬品性

物理的耐性

推奨被印刷物

材質

塗装面

塗装金属

塗装金属板

金属、ガラス、セラミック、ハードコート処理面

金属素地

熱硬化性樹脂

仕上り・質感・見た目の効果

仕上り

グロス

カラー・グレード

標準色（一般色）

00HLメジウム

07HL白

13HL青黄

14赤黄

16HLピンク

25紫

28オレンジ

38赤

45HL濃藍

46HL藍

75グリーン

90HL黒

スペック

荷姿

1kg金属缶

使用方法

- そのまま印刷できます。
希釈する場合は、テトロン (MOF) 溶剤 (速乾、標準、遅乾) とPETリターダー、またはSSP溶剤 (標準、遅乾) とPC特リターダーを使用してください。
- ガラスに印刷する場合や一液では接着性や物性が不十分な場合には、JA-1000を0.5~1%、テトロン (MOF) 溶剤を10~20%添加してください。
接着性や物性が著しく向上します。
ただし可使用時間が約12時間 (20°C) となります。
- 最後の色を印刷した後に1回だけ焼き付け (150°C30分以上) を実施してください。
このインキは150°C以上に加熱しないと硬化しません。

刷版

メッシュ

250~300

硬化方法・硬化条件

蒸発乾燥条件

指触乾燥

- 50°C7分
- 100°C2分

試験データ (環境・物性・耐候性・性能など)

条件

基材	アルミ板
インキ	遅乾性MIG-N (MOF) 2507HL白 100部 添加剤JA-1000 1部 テトロン (MOF) 標準溶剤 15部
刷版	250メッシュ
硬化条件	150°C30分

結果

試験項目	試験方法	結果
接着性	クロスカットセロテープ剥離試験	100/100
鉛筆硬度	手押し式 荷重750g	2H
耐衝撃性	デュポン式衝撃試験 $\Phi 1/2$ inch、荷重500g、高さ20cm	塗膜の割れ、剥離なし
耐摩耗性	学振式摩耗試験機 カナキン乾布3号 荷重500g 1000往復	異常なし
耐溶剤性	ラッカーシンナー*ラビング 100往復	剥離なし
	エタノールラビング 200往復	剥離なし
耐寒性	-30°C×48h	異常なし
耐水性	40°C温水 浸漬14日間	異常なし
耐湿性	60°C×95%RH×168h	異常なし
耐煮沸性	沸騰水 浸漬1時間	異常なし
耐洗剤性	ママレモン 5%液 24時間浸漬	異常なし
耐油性	モーターオイル 24時間浸漬	異常なし
耐酸性	5% H_2SO_4 水溶液 浸漬6時間	異常なし
耐塩水性	5%塩水 14日間浸漬	異常なし
耐候性	キセノンウェザーメーター (雨あり) 1000時間	100/100 外観異常なし

*DIBK/酢エチ/トルエン = 1/1/1

耐候性一覧

等級	色名
7-8	2518紅 2507HL白
8	2500メジウム 2513HL青黄 2514赤黄 2516HLピンク 2525紫 2528オレンジ 2538赤 2545HL濃藍 2546HL藍 2575グリーン 2590HL黒

- 有彩色をメジウムや白で薄めて印刷すると、原色の場合よりも耐候性が大幅に低下します。

注意事項

- JA-1000は湿気と容易に反応するため、使用时以外は容器に蓋をしてください。保管の際には密栓して冷暗所に保管してください。
- 遅乾性MIG-N (MOF) インキは熱によって反応しますので、なるべく低温（40°C）以下で保存してください。
- ご使用に際しての安全上の注意事項に関しては、製品の安全データシート（SDS）をご参照下さい。
- 当インフォメーションに記載されている内容は予告無しに変更・改訂する場合があります。
- この特性データは、弊社の実施した評価結果に基づくもので、お客さまのご使用時の製品特性を保証するものではありません。
- 使用の際は、実際に使用される装置及び被着材での評価結果に基づき、条件を十分ご検討の上、ご使用下さい。